

墨田区議会

自由民主党会派報

発行
 墨田区議会自由民主党
 墨田区吾妻橋1-23-20
 発行責任者 坂下 修
 編集責任者 出羽 邦夫

区議会ホームページ
<http://www.city.sumida.tokyo.jp/kugikai/>

葛飾北斎

(1760~1849)は、江戸本所割下水(現墨田区)に生まれ、幼少より、享年90まで絵師として労苦を重ね、森羅万象を描きました。墨田区では、その偉業を後世に伝えるため「北斎館」の建設を予定しています。



〈富嶽三十六景・凱風快晴 墨田区所有より複製〉

謹賀新年

本年も宜しくお願いいたします

本計画」を具現化するため、実質的にスタートした年でありました。

さて本年は、引き続き行政改革を推進し、より一層、強固な財政基盤の確立を図るとともに、夢と希望にあふれ、安心・安全なすみだのまちづくりを実現していく必要があります。

区議会としましては、これまで以上に効率的、公正な議会運営に努め、更なる区民福祉の向上のため、議会の英知を結集し全力を尽くしてまいります。

区民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。ご挨拶いたします。



墨田区議会議長
中村 光雄

明けましておめでとうございます
 昨年は、区政発足から六十周年を過ぎ、今後の十年を見据えた「新基

区民の皆様のご支援、ご指導を自由民主党に賜りますようお願い申し上げます。

昨年、我が自由民主党会派は、「未来の墨田」を展望し、改めて大きな責任を担うことを自覚しつつ、より一層の行政改革の推進、新タワー建設に伴う種々の問題解決、基本計画の着実な実施、安心・安全なまちづくり・子育て支援・高齢者対策の充実に力を入れて参ります。

墨田区政施行六十周年という大きな節目を過ぎ、我が自由民主党会派は、「未来の墨田」を展望し、改めて大きな責任を担うことを自覚しつつ、より一層の行政改革の推進、新タワー建設に伴う種々の問題解決、基本計画の着実な実施、安心・安全なまちづくり・子育て支援・高齢者対策の充実に力を入れて参ります。

墨田区政施行六十周年という大きな節目を過ぎ、我が自由民主党会派は、「未来の墨田」を展望し、改めて大きな責任を担うことを自覚しつつ、より一層の行政改革の推進、新タワー建設に伴う種々の問題解決、基本計画の着実な実施、安心・安全なまちづくり・子育て支援・高齢者対策の充実に力を入れて参ります。



墨田区議会自由民主党幹事長
坂下 修

あけましておめでとうございます
 新しい年を迎え、区民の皆様には新たな希望と期待に輝いておられることと存じます。

年頭の挨拶

平成18年度 決算特別委員会

(10月22日～11月1日)

委員長 出羽邦夫
 委員 西原文隆、坂下 修、木内 清
 沖山 仁、林 恒雄、樋口敏郎

意見開陳(要約)

墨田区議会自由民主党・沖山 仁 委員



意見を述べる沖山委員

あり、特別区税も増収となった。また、特別会計も予定どおり執行された。しかし、扶助費等が増となり、経常収支比率が二十三区平均を大きく上回る数値となつて財政調整基金等の積立基金などに影響を及ぼした。より一層の行財政改革に取り組みむことを切望するとともに、基本構想の実現に向かって、区長は強いリーダーシップを発揮し、区職員が一丸となり、一人ひとりが強い緊張感をもって奮起されるよう期待する。

今決算特別委員会に付託された平成十八年度一般会計歳入歳出決算、国民健康保険特別会計、老人保健医療特別会計、介護保険特別会計の会計審査に対し認定の表明をして、私の意見開陳とする。

墨田区議会自由民主党を代表し、平成十八年度の決算について意見を申し上げたい。

山崎区政は、長年にわたる行財政改革の実施により、今回十八年度各会計決算において、一般会計をはじめ三つの特別会計とも三年連続の黒字決算となった。

平成十八年度は、新たな基本構想の実現に向かったスタートの年であり、予算を具体化し、基本計画事業をはじめとした重要な課題である「安全安心のまちづくり」「環境施策の充実」「子育て支援施策」などの実施を積極的に進められてきた。

一般会計の決算中、実質収支額は前年度を十億円上回る約四十億円で



決算特別委員会で中村議長・出羽委員長・深野事務局長

区議会自民党の平成20年度予算要望項目

重点項目

- 一、財源の確保
 - 区民税や使用料等の徴収努力・収納率向上策を実行していくこと
 - 債権管理体制の強化
- 都区財政調整では、墨田区が有利となる方向性確保
- 受益者負担の適正化推進
- 一、二十三区清掃一部事務組合の運営効率化
- 一、新タワー・観光まちづくりの推進
- 一、後期高齢者医療制度の着実な運用
- 一、中央図書館としての機能を備えた図書館建設
- 一、すみだ総合保健センター建設の検討
- 一、子育て支援施策の強化

まちづくり

- 押上二丁目踏切の解消推進
- 京成押上線立体化事業
- 京島地区・曳舟駅周辺のまちづくり推進
- 建築物耐震改修等支援事業の推進

福祉

- 老朽児童館の整備
- 放課後子どもプラン(学童クラブ)の整備
- 特別養護老人ホーム(ケアホームズ両国)の建設助成
- 地域包括支援センターの充実

健康づくり

- 健康寿命の延伸(健康づくり推進)
- 食育の推進
- 妊産婦検診の拡充

観光

- 区内巡回バスの実現(ルート整備・地域個性考慮)
- 観光案内所の整備・増設
- 北斎館(仮称)建設事業の推進

産業

- 産業観光に向けた3M運動の拡充
- 商工融資の充実
- シニア人材の育成・活用

教育

- PFIによる錦糸体育館改築
- 中央図書館整備事業

防災・防犯

- 新たな区立学校適正配置の推進
- 幼稚園型認定こども園の開設
- 緊急地震速報システム
- (J・ALERT)の整備・配備
- 地域防災リーダーの育成・増員
- 防災ネットワークの整備

環境

- 集団回収支援事業の充実
- ヒートアイランド対策の推進
- 環境ふれあい館の建設

その他

- 庁舎リフレッシュ計画の実施(喫煙コーナー設置)
- 「すみだ やさしいまち宣言」推進事業
- NPO活動の支援

墨田区と栗野の親善少年野球試合

友好交流の更なる進展に期待高まる



鹿沼市栗野総合運動公園野球場に勢ぞろいした両チーム

去る11月25日、墨田区の少年野球連盟(坂下修会長)の小学五年・六年生で編成する野球チームが、三十年前から墨田区と防災協定を結んでいる栗野町(現鹿沼市)に招かれ、栗野学童野球クラブ(鹿沼市)と親善野球試合を行いました。墨田区では考えられないセンター間一〇メートル、左右両翼九〇メートルの広々とした野球場で熱戦を展開。五年生の対戦では6対0で、六年生は対する相手は栃木県で三位のチーム、接戦の末2対1、いずれも墨田のチームが勝利しました。

旧栗野町には「すみだ自然学園」があり、毎年、墨田の小学生がお世話になったり、また、錦糸公園で開かれる「墨田まつり」には、栗野地区の方々が農産物即売店を出店され、区民にもおなじみの町です。

野球大会には、墨田区議会の中村議長をはじめ田中副区長、坂下幹事長・有志議員らも参加し、鹿沼市との交流を深めました。



山崎区長に要望書を提出する自民党会派執行部

